



農大二中進路通信

令和5年5月6日(土)

第5号 農二進路指導部

一か月の農二中生活を乗り越えた!

入学式から約一か月が経ち、徐々に生活のリズム、そして、学習のサイクルができてきたように思います。ただ、思っていた以上に、課題が多く、確認テストも多々あるため、「数学の課題があ〜(泣)」「課題が終わらなくて睡眠不足・・・」「英単語のテスト爆死(悲)・・・」といった classi の書き込みを目にしたり、声を聞きました。みんなの中には、習い事をして、塾にも行き、そして、学校の課題もしてという忙しい日々を追われながら、日々一生懸命がんばっている人が多くいます。そして、「24時間じゃ、足りない。時間がもっとほしい」といった声も聞きました。気持ちはわかりますが、24時間以上に一日がなるわけではないし、かといって睡眠時間を削ると次の日のパフォーマンスが下がり本末転倒です。

では、どうするか? 2つの解決策があります。①足し算ではなく、引き算をする。②自分のCPUを上げる、です。①の引き算とは、これまでの生活やってきた何かをやめる、もしくは短くするという事です。今後ますますやる事が増えていきます。なんでもかんでもプラスでやろうとすると時間が足りなくなりますが、体力も足りなくなりますが、したがって、しっかりと優先順位を考えてやるべきことを先にやりつつ、これまでやってきた何かを削る事です。それは、YouTube を見る時間であったり、twitter やインスタなどの時間を削ったりです。また、学校外の活動や勉強がある生徒も多くいます。それ自体は悪いことではありませんし、課題が終わらなかつたり、単語を覚えたり自学の時間が取れなくなってしまう悪循環になってしまうことがあります。いろいろなことに追われすぎて結局、精神が病み、体調不良になってしまうことがないとも言い切れません。よく、自分の体と相談しながら、学校の勉強とうまくバランスを取りながら活動を行ってください。そして、もっと大切なのは休息です。自分なりの生活のルーティンを作っていくてください。

また、個人の CPU を上げることが解決策にもなります。パソコンやスマホにおける頭脳の役割を持つパーツが CPU です。CPU の性能はデバイスの性能を大きく左右し、CPU が高性能であるほどデバイスの動作は速く快適になるのはみんなも知っていると思います。課題が多くて苦しんでいる人もいますが、例えば数学の課題がたくさん出たとしても、処理能力が上がればその分短い時間で課題を終えることができます。ただ、処理能力は自然に上がるものではありません。今は苦しいかもしれませんが、踏ん張りどころです。がんばれば、みんなの CPU が確実に上がっていきます。自分だけが苦しいわけではなく、みんな苦しいけども、がんばっているのです。同苦しながら、みんなで乗り越えていこう。へこたれずにね!

重要

親子進路ガイダンスのお知らせ

5月24日(水)中間テスト後(13:00~14:00)に進路ガイダンスを行います。ベネッセより講師を迎え、中高一貫の6年間を、どのように学習を進めたらよいかについてのガイダンスがあります。また、4月初旬に受験した学力推移調査の結果も返ってきましたので、そのことについても触れていきたいと思います。先日お伝えしたように保護者の方々も対象となり、自由に参加できますので、ご都合がございましたらぜひご参加ください。



Follow-Up Time (単語テスト編)

先日、春休みの宿題で単語テストを行いました。合格点は95%でしたので、それに満たない生徒に関してはfollow-up 再テストを行いました。多くの生徒は一回目よりも点数がジャンプアップはしたものの、今回も不合格という生徒も多くいました。合格者も不合格者も間違えた単語があった場合はその後自学ノートに単語練習をして帰りました。再々テストでは合格が勝ち取れるでしょうか？期待しています！)

何度も言いますが、合格点に届かせることは大切なことですが、大事なことはどう勉強すれば合格点に達することができるかです。「努力はしました、でも、ダメでした」でいいんでしょうか？もちろん、努力したこと自体は素晴らしいことです。でも、努力自体が目的になることはいけません。結果を出すにはどうしたらよいかいろいろ試しながら、結果を出せる努力をすることが大事です。そして、最後には95名全員がある到達度までいきたいところです。生徒のコメントの中には

「英単語テストの再テストがあって点数はすごく上がったが、目標の点数までいかなかったのが、悔しかった。なのでとことん英単語の練習をした。次は絶対目標点以上出す！できれば満点を狙っていきたい！」
「少し緊張しましたが無事合格点に届いてよかったです。でも、中には一発で合格点に届く人もいるので、今回再テストに参加したことに恥ずかしく思いました。だから自分もその中に入れたいです。」
などいろいろなポジティブなコメントがありました。英単語テストができないくらいで「英語ができない…」とか勝手に自信をなくしてはいけません！むしろ、農大二中生は「農二プライド」をもって努力を結果に結びつけ、自信をつけていくのです！



数学科より学習のアドバイス

4/28 に代数(正の数と負の数)の単元テストを行いました。生徒からは「たくさん問題を解いたのに全然できなかった…」「時間内に終わらなかった…」という絶望の声が多く聞かれました。まさに算数から数学になり、最初の壁に直面しているところです。計算問題では、計算の決まりを正しく理解し、その上で計算の工夫を活用し最適な計算方法をその場で判断することが大切です。決まり通りにがむしゃらに計算することは必ずしも正しい方法とは言えません。例えば累乗は先に計算する決まりですが、下の例のように完全に計算する必要がない場合もあります。また、かつこの中を先に計算せずに、分配法則を使うと計算がラクになることもあります。このように、状況に応じて適切な判断ができるようにするため、問題集にはたくさんの練習材料があります。むやみに多いのではなく、様々なパターンを網羅しているので、問題数が多いのですね。数学では、いかに工夫するかで解く早さや正確さが決まるため、暗算や筆算の早さはあまり関係ありません。問題集を繰り返し解きながら、自分に合った計算方法を身に付けましょう。

$$\begin{aligned} & \left(\left(-\frac{13}{3} \right) - \frac{15}{4} \times \left(-\frac{8}{27} \right) \right) \div \left(-\frac{1}{6^3} \right) \\ &= \left(-\frac{13}{12} + \frac{10}{9} \right) \times (-6^3) \quad \leftarrow 6^3 = 216 \text{ くらいでいい} \\ &= -\frac{13}{12} \times (-6^3) + \frac{10}{9} \times (-6^3) = -6 \\ & \frac{13}{12} \times (-6) \times 6 \times 6 \quad \frac{10}{9} \times (-6) \times 6 \times 6 \end{aligned}$$